

入善町 議会だより

12月定例議会

No. 38号

発行所 入善町議会

編集 入善町議会だより編集委員会
富山県下新川郡入善町入膳3,255

☎ 0765 (72) 1100



上青小学校校舎完成

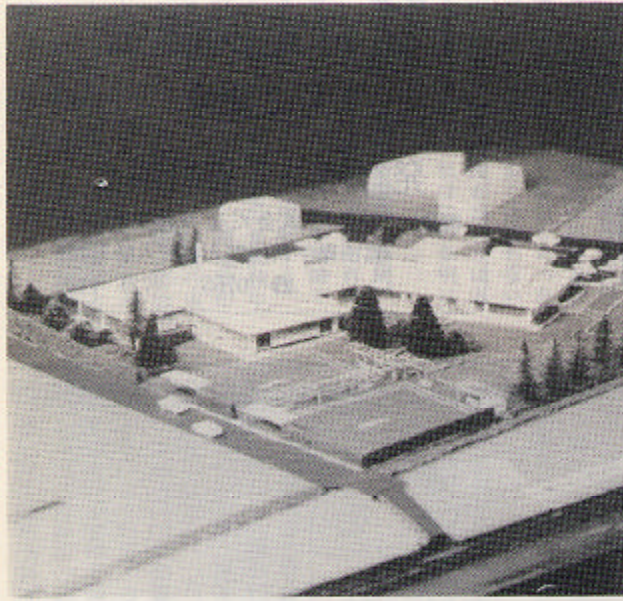
総事業費 10億5,585万円

ページ案内

12月定例会で決定したこと	2ページ
一般質問	3ページ～11ページ
決算特別委員会審査報告	11ページ～12ページ
常任委員会審査報告	12ページ～13ページ
議員定数減少条例決定	13ページ～14ページ
臨時議会	14ページ

第7回定例会

12月議会



社会福祉センター完成予想図

主な内容

◎入善町土地取得特別会計予算
豊田金属株の用地を町が企業への光払い収入をもって買上げる。大林議員は、同用地内に道路分として29万円一般会計から繰り出されていることから、一般会計を承認しない先の提案理由に対し、一般会計と特別会計の整合性を追

12月定例議会のあらまし
定例会は9日から20日までの会期12日間で開催された。初日に土地取得関係議案2件を即決。同日一般会計補正予算をはじめ議案8件、請願7件、陳情1件、会期中議案2件が当局より追加され各委員会にて審議し、最終日の議員提出議案を含め、討論し各々可決された。

及した。
◎57年度一般会計補正予算(4号)
現段階で確定した国、県補助事業と人件費の調整で1千65万6千円増額し、歳入歳出合計64億8千円とした。増の主なものは、上青小、学校1千80万円、除雪費80万円、低品位米補助20万円、減額では中町線改良事業負担金1千500万円。

◎57年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
法改正により老人保健特別会計へ2千40万円拠出しその分給付費を減額する外、高額療養費3千15万円増額し予算額計1億6千93万円とする。
◎入善町災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付けに関する条例の一部改正
災害救助法の適用を受け災害で障害者となった町民に災害見舞金を支給する。
◎入善町家庭奉仕員派遣手数料条例の制定

老人及び心身障害者のホームヘルパー派遣対象者を所得課税世帯まで拡大し手数料をとる。
◎入善町総合計画の基本構想
町の将来像を「活力と潤いのおい」に満ちた文化の町「入善」とした。
◎土地の貸付けについて
入善機械工業センター内町有地を西島鉄工所へ15年間の無償貸付けすることにした。
◎老人保健特別会計予算
58年2月1日から老人保健法が施行されるに伴い、特別会計を設け財源は保険者から70%、国20%

県、町各5%ずつ負担し、運営する。

●新幹線対策特別委員会の設置
北陸新幹線建設について鉄道建設公団から、ルート上の発表があり、環境影響評価報告のため住民の意見が提出されている。この問題を取り組んで民意を反映するために、議会に特別委員会をつくった。委員長小林与三雄、副委員長白又正司、委員は五十里隆章、板川清治、舟本博一、野坂俊一、若島信行、大林政雄、池原金与志、福沢万次。

採択された請願★陳情

- ▼道路の改修と舗装について(下飯野)
西入善駅南側農道の舗装に関する請願(下飯野新)
- ▼58年度農道整備舗装事業について(野中地区)
コミュニケーション施設設置に関する

- 人事
入善町選挙管理委員及び補充員に、議会の選挙で次の諸氏が当選人と決定した。
○選挙管理委員(4名)
入善町入籍 上田正平
下飯野 塚田正蔵
新屋 林 彰
田ノ又 坂東 賢
○選挙管理委員補充員(4名)
第1順位 青木 吉沢親敬
第2順位 西中 水上孝男
第3順位 横山 君島善治
第4順位 吉原 大野八郎

議会日誌

- 11月
 - 11日 決算特別委員会
 - 17日 決算特別委員会
 - 24日 決算特別委員会
 - 25日 決算特別委員会
 - 26日 県議長会理事會
 - 29日 全国町村議会議長大会
 - 30日 全国豪雪地帯議長大会
- 12月
 - 1日 上、中、下新川郡議長会
 - 2日 議会運営委員会
 - 9日 議員全員協議会
- 1月
 - 12日 県議長会理事會
 - 25日 新幹線対策特別委員会
 - 28日 議員全員協議会
 - 28日 議会臨時会
- 9日 第7回議定例会(初日)
- 10日 議会運営委員会
- 13日 議定例会(二日目)
- 14日 議定例会(三日目)
- 15日 総務委員会
- 16日 文教厚生委員会
- 17日 産業建設委員会
- 20日 議定例会(最終日)
- 20日 新幹線対策特別委員会
- 27日 新幹線対策特別委員会

町政を追求

活力ある文化の町 入善をめざして

町政一般質問

行政の 基本姿勢を問う

上島藤吉議員 (自民)

自民党議員会代表質問

問 中曽根内閣の行革への強い決意について、町長はどの様な政治姿勢を持って臨まれるのか、まず伺う。

政府は財政再建を前にして人勸を凍結しているが、かつて革新政の指導者であった町長が、攻守を替えられた現在、心境に変化があるか、人勸の扱いについてどの様な見解を持っているか、又、町の臨調とも言われる行

政審議会を発足し諮問されているが、恐らく土光臨調と同じ主旨の答申が出て来るのではないかと。それは限られた財源の枠組の中で町民全てを満足させ得るものではない。感ずる処あつてされたことと、思うが、内に行財政検討委員会があり、これを有効に活用されなかつたのか。屋上屋を架した感もする。町長はあの会、この会を矢張り早く作られ、人によつては「町長の隠れみの」いや「深慮遠謀が秘められている」と見る人もあるが、自民党議員も行革が必要との前提下に審議会の答中と対応される町長の姿勢を見守りたい。

承知の通り、町民のニーズに込えられなければならぬことは山積みされている。新総合計画案を示されたが、それを以て積極的政治姿勢とは言えない。今、早急に建てねばならぬものでも老人福祉センター、町民会館、飯野小学校などや、その外巨額を要するものが沢山ある。とりわけ小学校の新築は、地域格差の是正と人間形成の館であるので重視し、短期間に全校を完了しなければならぬ。当然、財政負担が問題となり、そこが長の行政運営の見せ所でない

か。然し、学校、その他の施設の建設によつて、運営に要する維持管理費は膨大となり、財政破綻を招く。又、内に職員34名、パート90名を抱え、更に公債債務が膨れ上がり、その外事務の電算化は時代のすう勢だが合理化された分が何処に生かされたのか映らない。取り上げれば切りが無い程山積みされており、小田原評定は許されない。いち早く見通し適切な施策を講ずるか否か町の盛衰にかかると、町長が真に取り組まれるなら協力支援はやぶさかでない。決意の程伺う。

町長

行革については具体的な問題は別として、役場の行政執行の中において時間的、経済的に改善することは沢山ある。解決策として長一人では出来ず、ある程度の時間的な効果を得るのに努力中だ。行政審議会は今までの議会で民間有識者を加えた形にせよとの指摘であったが、私は民間人の独立した審議会を作り答申というより意見を賜り、内に行財政検討委員会でせしやくし、出来るものより

順次取り組みたい考えである。内輪の組織には甘さも有り屋上屋を重ねたものではない。又審議会など沢山作るということは町民参加の行政あるいは議会の意向を尊重した形での設立と理解願いたい。

人勸の問題だが本来なら公務員労働者の争議権を制限する一つの代償行為だ。尊重すべきことだが幾多の経緯と国や県、他市町村の動向を見極め対応したい。行革の問題は職員にも事あること意識改革などいつている。常に経費と効果、法令に違反していないか、全力を出して行っているか、職員へ問いかけさせている。時間的、経済的な意味でも改善すべきものが沢山ある。かかる観点からも職員の民間派遣も一つであり、皆さんからの意見など聞き、自主的な行政の改革を行わねばならない。

総合計画については小学校を一つ作るにしても12億から15億かかる。2校一度に建設することは不可能であるが、教育の公平も理解するので、建設する迄、公平を欠くことのないよう努めたい。今後建設予定している社会福祉センター、町民会館などの運営管理については構想的段階だが、財団法人などを作って管理するのも方策と思うが、維持費についても設計上十分考慮すべき必要がある。電算化は現行の委託か、導入するのがよいのか検討中だ。人員については行政も日進月歩であり、町民ニーズの多様化などで即、減員にはならないことだが、常に能力を最

大に引き出す形で人員の見直しも図らねばならぬ。定年延長は60年3月迄、町条例を定めねばならぬが、職員との相互信頼にたつて対応したい。

問

58年の予算の大綱は新総合計画書で、その概要は解る。国の財政は益々厳しいのに58年計画予算は61億円近く見込まれ心強いが、然し公債、債務負担合わせ15%の壁に突入すると思う。恐らく総合計画の最終65年度には公債だけで15%になると思う。先のことは予測しがたいが何故か債務負担だけ58年以降51%と横ばいである。その根拠は。又56年の国税3税で約8千500億円を後年度で交付団体へ返還、清算されることとであり、その返還額は如何程か。

町長

地方交付税の57年度返還はしなくとも良いことになっている。但し、減額されるものとして人事院勧告分1%と老人医療費が10月から実施される見通しが実際には2月1日になったので、その差額を合わせ約2千500万円位減額交付が予想される。58年度は国税3税の落ち込みによって大きく減額が予想されるので心配している。公債比率は60年で10.5%、65年度では12%位と見通しているが、経済の不透明な点もあり、従つて交付税、又税収にも不透明だ。税収などに似合う計画でローリングシステムで臨んでいきたい。

農業施策の取組について

池原 金与志 議員(自民)

問

入善町60年代に方向付けを示す第3次新総合計画の実施計画、素案が発表された。全町民参加で行われたアンケートの結果は行政に於いて実質的に反映されなければならぬ。しかし臨調結みの厳しい時代に於いて要望順位と行政執行が一致出来ない事は理解出来るが、今後町政を司る立場で地区集会の要望やアンケートの基礎データ等について、どの様な見解で行政執行に当られるのか。又町長は常に町政への理解と関心を高める為に町民参加の町政を目指す方針であるようだ、我々の立場からどの様な受け止め方をすればよいか、率直な所見を伺う。

町長の要望や意見を的確に把握し、策定の基礎にする全世帯アンケートを実施。70%の回収率は町政に対する深い関心の表れかと理解している。要望順位と実施計画との整合性については基本計画の中に明記している。例えば要望の高い病院建設などの計画は不可能だが医療機関の誘致は考えている。今後空いて来る予定の上原小学校跡地へ、町の医師会関係あるいは開業を予想される方々など、高度な医療機関もお互いに協力出来る

ような形での医療団地を考えている。具体的には総合病院のような形での医療機関の整備をして行かねばならない。要望順位をそのままに横滑りさせる形での総合計画は作っていない。町民の要望などは今年度発表した総合計画の中に盛り込んでいる。

住民集会、アンケート、審議会を通じての町民参加を願っているところであるが、議員は法律に基づいた最高の権限をもち、議員の意に反するような町民参加は考えていない。あくまで行政側としての任意を常に理解したくという意味での町民参加を考えているので理解を賜りたい。議会との連絡調整については今後十分留意したい。

問

入善町に於いて水田再編対策第2期目の今年度は70haを消化され、58年度割当面積も、今年度消化面積同等であるとの見通しから、麦作、チューリップ、飼料作物等が作付されている。新聞紙上によれば米の不作から食糧の供給バランスの調整上、減反面積を緩和するようだが、どの程度の緩和であるのか。又集団転作による麦の作付面積等の調整をしなければならぬ集落も生ずるが、どの様な指導体制を考えておられるか。又総合

整備モデル事業は来年度を以って完了とのことだが、新規事業の選択はいかなる方法で推進されるのか。又事業内容についての構想も併せて尋ねる。

野坂俊一議員(自民)

58年度産米の限度割当は国段階で傾斜配分になっている。県では均等割と聞く。いつ、どのような形で行なわれるのか。我が入善町で町長は傾斜配分の割当についてどの様な施策を取られるのか伺いたい。

町長

57年度の転作目標面積は特定作物として63ha、一般作物95ha、永年性の作物1ha合計70haである。奨励金は国庫からの支出金が4億8千100万円、県費1千150万円、町費2千700万円、合計5億2千200万円になっている。

去る11月19日農林水産省は都道府県別配分を発表した。国では3年連続の不作に伴い58年度の転作目標面積を67万7千haから7万7千ha軽減して60万haに決定している。これに基づき県の配分は1千40ha緩和され57年度の転作面積より約9%下廻り1万610haとなる。農林水産部長の話では、市町村の配分について均等配分を止め傾斜配分の要素を取り入れた形で、実態に即した配分を検討したいと言っている。しかし町全体に於ける地区的な気象条件等勘案した形での傾斜配分など、多くの問題を抱えており、農家の皆さんと相談しながら対応したい。

第3期のモデル事業の採択を希

望しているが、農林水産省では制度化されていく検討中と聞いている。町政懇談会でも事業の着手について要望を承わっている。これに対応する為59年度にミニモデル

新幹線の対応は

白又正司 議員(自民)

問

鉄道建設公団から町内を通過する新幹線ルートが公表された。北陸地方の発展から、富山県知事、国會議員の方々に入善町にどれたけのメリットがあるか、発表ルート沿線住民の不安は大い、北陸自動車道、国営かんばいの合

口用水路の改修などその谷間に入り、集落では農業に対する各種の被害が予想される。町はどう対処されるか伺う。

町長

新幹線ルートは北陸自動車道とはほぼ平行の線引きだ。附近住民は勿論、その間に挟まれる新屋、小摺戸地区には、それぞれの影響だけでなく複合汚染の言葉のように同時に影響を受けることが予想される。県に対して意見を述べることが出来るが、また行政として予想される各種被害など関係機関に申し入れ働きかけて行かねばならない。新幹線ができ、その上、黒東合口用水が拡幅改修されれば尚悪い環境となる。用水に蓋をすることが望ましいが財政的に困難と思う。住民の利便を考慮し被害など最少限になるよう努力したい。

問

農業施策で水田再編転作面積の不足から青田刈りまで行なってきたが、3年続きの不作から転作面積を減らすことに変わると、麦の作付が済んでいて転作の超過が出る

高速道路高架(若栗新地区)



その対応と、また転作が続けば地方の低下が明らかである。地方の増強の考えはあるか、農地高度利用、流動化、受委託など農家にとって、めまぐるしく変わる政策に不安がつのる、町長の考えはどうか。

関連質問 野坂俊一議員(自民)
農地銀行の運営はどのようなふうになっているか、また農作業銀行の事業に黒部、砺波で補助しているようにだが入善町の状況を聞きたい。

町長
米が余るから転作が導入されて、不作続きから転作が緩和されること歓迎する。国は農政に対する計画性、先見性に欠けるのでないか。変化が早いので猫の目農政と言われるが総合食糧の需給は30%と言われる現況で、入善町の農業は基本産業と位置づけし農家の利益を守る立場で国限に働きかけたとい考えている。中核農家の育成は前向きに検討しているが直ちに拡大することは極めて困難である。受委託問題を取り上げ、農地銀行を設置しても実績が上らず農家の皆さんと相談しながら取り組んでいきたい。田畑輪換で農地の活用を進めるには肥沃な土地が第一条件である。地方増強には県の補助事業で稲わらと畜産農家の厩肥の交換で効果をおげている。作物の栽培に合った有機質、完熟堆肥を入れるのが大切で生産組合と話し合いながら進めている。また中核農家の貴重な意見も承ればありがたいと考える。

農政課長
転作の緩和による町の対応は、

転作の進行中であるが既に作付されている麦、球根、牧草について緩和されても減らすことは出来ない。生産組合で集団を崩さないよう調整して大豆等を植えて稲の単作以上の収益をあげるよう普及所、農協営業指導員と連携を取っている。農地銀行は10月から発足して農地

町民アンケート調査の結果、要望の第一は除雪対策で57%と高いものである。除雪道路延長20kmに付して大部分は35業者に委託されているが業者に付し除雪の徹底を図るなど万全を期せられたいので町長の方針を伺う。

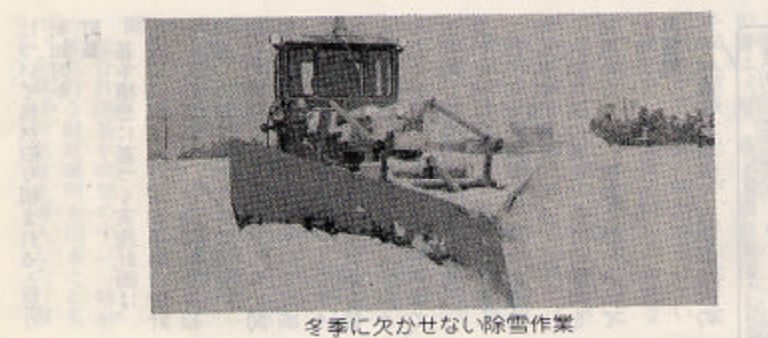
町長
去る11月11日、本年度の除雪対策協議会を開催。道路除雪基本計画及び実施計画を示し、各位からの要望を聞き町内除雪にご協力を願っている。又除雪対策本部を設け警察、消防、交通安全協会、区長警署などの協力を得ながら土木事務所とも十分連絡をとり降雪の状況に応じて迅速に除雪が出来るよう計画している。予算については3千500万円程になる。あらかじめ民間にお願いしている35業者と町有除雪機11台をもって、通勤、通学の前を除雪されるよう万全の態勢を取っている。

除雪対策に万全を期せ

野坂俊一議員(自民)

流動化を進めている。国から流動化奨励金として、農地賃貸契約3年以上が1万円、6年以上2万円助成されている。今年で制度が切れるがその後は不透明な所だ。農作業銀行の事業は農協で設置した農機センターで県から町を通じて農協へ補助金が支払われている。

町長
町には375名の消防団員と消防署職員で生命財産の安全を守ることに取り組んでおり、消防ポンプなども計画的に整備している。消防団員の待遇については十分といえないが全県的を視野に立ってのランクは決して悪い方ではないと考えており、消防団員の家族に対する手当でのようなものを一人年間3千円計上している。これからも団員のご理解を頂き施設の整備、団服などの更新を図って行きたい。自衛消防については自主的な団体であり、全町的な実態を十分把握したい。消防団などで鎮圧の出来ない時に応援を依頼する。自衛消防



冬季に欠かせない除雪作業

の指導など強化していき、できれば来年度に予算措置も考えたい。

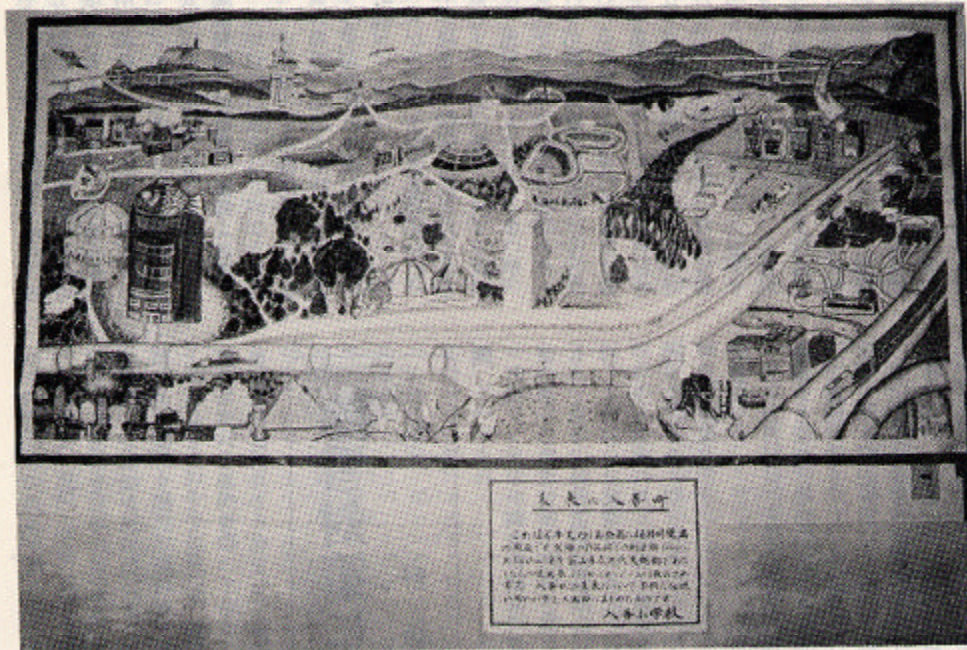
町長
14ヶ所の保育所で1千3百余名の児童を保育する保母の中に、臨時職員の保母13名がいる。52年4月から勤めて未だに臨時であり、給与、ボーナス等の待遇も悪い。来年度はすぐに採用する事が出来ないか伺いたい。

町長
臨時職員の対応については、入

善町定数外職員取扱要綱に基づいた範囲内で、長期間町の為に貢献された中から選考を行い欠員が出れば定数化に繰入れをする。パート職員については、保育体制の改善を図る段階で雇用の確立を考えており具体的には児童に対する保母たちの活動を増すような形で考えて行きたい。又延長保育や障害児保育も積極的に取組むが、園児の減少もあり臨時職員と対応して行かなければならない。賃金や勤務条件なども他市町村の動向を勘案しながら考えて行きたい。

町長
入善町が主催する農業を中心とした「豊年祭」を実施しようと言ったと共に、現在実施されている農協の農業祭をも包括して、改良普及所、婦人会、4日クラブと共催して町民が喜ぶ祭りを年一回出来ないか。

町長
毎年農協が主催で農業祭を実施しており町も積極的に参加している。この機会に他市町村の農業祭に対する対応を参考にしたい。朝日町などは町が直接参加するのではなしに、農林水産振興会などを作り、そういう中で共催の形にしている。負担状況などは朝日町、3年に1回、年間50万円、魚津市、24万円、高岡市70万円のご意見を十分参考にしながら、農協とも協議をいたし積極的に入善の基幹産業である農業の発展の為に農業祭を位置付けし協力して行きたい。



町の将来像 青写真は

五十里 隆 議員(自民)

問 昨日(12月12日)魚津へ建設大臣、入善へ環境庁長官が来られた。各市町村長は、この際に陳情をと

競って出席されたが、残念ながら入善町長の姿を見ることが出来なかった。町でも陳情することが多いと思う。町長の自宅に参院補選の室内ポスターが掲げられてあると仄聞するが、このことと関連があるのか。

町長 建設大臣が魚津の沖外夫さんの選挙事務所へ、各市町の陳情を受けると連絡を受けたのは、前日の土曜日であった。その時すでに富山や東京大学の教授と埋没林の会合に出る約束をしていた。12月7日黒部川治水同盟で上京した際、建設大臣に会い、町の要望を陳情し、また建設省の各課長とも食事を共にし懇談して来たので、魚津へは助役を出席させた。

町長 自宅にポスターなど貼っていないし、事実を隠してから発言された。行政は町長本位で中立を守る信念から立候補しており、今は無所属だ。選挙には沖候補へ町長として陣中見舞いをしてきた。

町長 町長の長い政治経験と社会党出身の革新首長として、清新な町政展開を期待していた。新旧のキャッチフレーズを比較して見ると農工一体の町が経済的に豊かで活力のある町、公園都市はうるおいと文化の町にその外も表現が変わったにすぎない。従来の路線の延長と施設づくりの重点がおかれたバラマキ計画である。町長の理想とする入善町の将来像、青写真は何を想定して作られたのか。又、入善

について当然取り組まれると思うが如何か。

町長 基本構想に基づく実施計画は、正式に決定されれば8年間の指針として行きたい。計画は単なる絵に描いた餅であってはならない。税収の確保など見通し立たない問題もあり、把握出来るものを計画した。先の総合計画のメンテナンスも今のメンテナンスも言葉を変えて言えば、入善町に住んで良かったということが我々の将来像で内容的に変るものではないと思う。良い伝統は保守し、矛盾は革新して行くのが町政執行、総合計画を作る基本的考えである。

町長 入善は国の考え、各町の動向を見極めながら、職員と話し合っ行ってみたい。

再質問 中核農家の育成や古黒部地区の

歳入は予定どおり見込めるか

岩場 俊 議員(民社)

問 57年度予算の現状を見る限りでは順調である。しかし今、地方交付税が予定通り国から交付されるか予断を許さない。本年12月に交付される交付税が国の歳入欠陥のありを受けましか交付されず、残り1月以降に延ばされ、その財源措置もなされてはいない。町長は歳入に於ける執行について如何

に考えて対処されるのか。又歳入が予定通りであったとしても歳出の執行に問題はないか。未執行の事業は出てこないか。歳入に問題があれば財調を取り崩して完全執行されるのか。自治省の58年度予算概算要求の交付税交付金は今年度比12.6%も減少している。この%を今年の町交付税に当てはめると14億5千万円が12億7千20万円

圃場整備など本腰を入れ取り組まれるのか。漁業では育てる漁業とキャッチフレーズは良いが、稚魚の放流など効果はあるのか。中央通り線の代替地として中央公民館や教育センターなど当てる考えもあるようだ。商店街等は緑地、駐車場、遊びの要素も含めた都市構造が必要でないか。

町長 農業問題について提案を尊重しローリングしなければならぬ。古黒部はその気運も出て来たようなので、相談して行きたい。育てる漁業は地形的に困難な面もあるが、基本的な方法として大切だ。中央通り線の巾員は3つの案があり、地元の意見も大切だ。現在の中央公民館の廃止に対しては陳情も受けており、単に代替地とするのではなく、商店街を含めた総合的調整は大切だ。

と1億8千万円の減額となる。新総合計画案では58年の交付税は14億8千万円となっているが確保出来るのか。電源開発協力は交付税に本来与える影響はない筈だが、絶対ないと言いつけるか。又本年の町税は15億8千万円に対し、計画案では約11%増の17億6千万円となっているが、確保に自信はあるのか。

町長

地方税については国税3税の減収で当初決定額が国全体で1兆7千万円弱減額され、町への影響もあるが、税収の伸びも若干期待が持てると思ふ。年末の支払いなどはないと思う。年末の支払いなど一時的に悪化するが、現時点で積立金の取り崩しはない。11月末で執行率は76%、投資的事業の発注率は89%である。積立金による交付税の減額は無いと思うが、県に問い合わせたい。58年の交付税見込みは14億8千万円だが、57年の10%マイナスと1億円の特別交付税とプラスしている。税は過去の統計なり政府発表の経済成長率など参考にし17億6千万円見込んであるが、景気の動向で多少要するの止むを得ない。

問

町民会館は来年より3ヶ年で約15億7千万円をかけて建設される。しかし、この建設は60年から着工を予定している駅前からの中央通り線改良事業と大きく関わりを持っていて、中央通り線と平行して進められるであろう新商店街づく

りや真に特急停車駅として実力をもつ都市計画づくり、更に町民会館は如何に町民全体に機能させるか重大な計画である。中央通り線や8号線などからの会館出入口はどうするか。中央公民館跡地を代替地とするにも商店街の再構築としてどの方法が良いのか。又商店の規模から駐車場は現在の3倍位必要でないか。これら総合的に町民会館と連携して行政側の対応すべき問題である。

町長

指摘のとおり総合的な捕まえ方



問

本町出身の米沢紋三郎氏により石川県から分県して置県100年、この意義ある年に我が町も合併30周年を迎えることは重ねてお目出たことと言えらる。合併30周年記念行事の取り組みについて、30周年の節目としてどう評価し、今後どのように町政に対応をされるのかその姿勢も伺う。

町長

合併30周年記念事業の取り組みについては、総務課を主管といたし、各関係課とも緊密な連絡をとりながら検討を進めている。事業の計画に当たり一人でも多くの町民参加、そして企画段階にも参加を頂くことを基本にし、有意義な

をして行かねばならない。しかし実際の都市計画道路事業に着手する段階になると代替地は頭の痛い問題だ。今商店街をどうするかが問題だ。行わない勤労世帯などの代替地は、市街地内農地の買収で対応することを考えている。物事は一つだけの側面からではなく、多面的に見て同時に解決を図るのが行政の執行に無駄のないことである。

各位の助言と協力を、お願いする。

記念事業にしたい。30年という一つの節目を位置付け、先人が開いた町政を守り育て飛躍させたい。行事の詳細な内容などについては、町の広報を通じて応募のあったアイデアと各課の考えを加えて検討している。事業は記念式典、記念出版物の発行として広報特集号や縮刷版、町史、町勢要覧、町民憲章碑の建設、名譽町民の推挙、記念植樹。各種の催しは黒部川扇状地研究所が主体でシンポジウム、NHKのど自慢大会、NHKラジオ体操、郷土芸能大会、町民美術展、町花をチューリップフェア、定としてのチューリップフェア、高速道路の供用開始前に歩こう会、この他に皆さんの意見なども受け

たい。合併30周年記念事業は任民参加を基本にしており、この事業を通して「活力ある文化の町入善」の実現に一層努力したい。

問

横山小学校廊下の床は非常に損傷が甚しく部分的に修理も限界である。生徒は掃除の際に手にとげを立て、医者へ行くケースもある。又便所の水洗化は本町で一枚だけが残っているもので、58年度で行うと言う町長の確約する答弁を願う。

町長

小中学校を含め格差のないよう教育環境の整備に当たりたい。横山小学校は26年に建築され、非常に老朽化が激しく、廊下の床等も合わせ、来年度予算には財源等を考慮しながら計画的に行いたい。

問

入善町も県に順応されて雪に對する施策として消雪工事の施行など積極的に取り組んでいる姿勢が高く評価する。今、町道50kmの内流雪溝、消雪工の施工は8%と1%に満たない現状である。今後、どのような対応で町民の要望に込えられるか。又町道の消雪工事は地元負担が20%、県道の消雪工事は町が10%負担している。これらの負担を県に働きかけて何かの方法で負担の軽減が出来ないか。町道、農道の舗装の進捗状況と今後の取り組みについて建設課長に問う。

町長

県道においては町が総工費の1割を負担しているのが適当かどうかは問題もある。財政の負担区分は明確にしなければならぬ。理想とすれば負担しないのが望ましいが、限られた財源の中で多くの町民の要望に答える公平の原則からも、出来るかぎり消雪、舗装の延長を伸ばしたい。現状において県道はある程度町が負担。町道は現行2割負担であるが、当分はやむを得ないところだが、将来は計画的に20%から10%までにした

建設課長

横山地区の町政懇談会において他地区の実績等から勘案して、9時30分に終わることを予想し、お客さんと時間の打ち合わせをしてきた。時間内に終わらず谷区長会長に「会う約束をしているから」とお断り申し上げ、途中で帰ったことをご理解頂きたい。来年度は十分時間をとりたい。

町道舗装は57年で延長にして1万2千804m行い、56年度末の数字を足すと26万4千500mとなる。現時点で舗装率は58%程である。土地改良区が行った農道関係舗装は、本年で2千877m、トータルにして1万9千161m、率にして28%程になる。町道、農道合わせた舗装道路延長は28km、相対的な率で54%である。町道は50km、農道は66kmの延長を有している。

合口用水改修推進を

舟本 傳一 議員(自民)

問

大正末期頃に築造された黒東黒西両合口用水路は老朽化し側壁が倒れる。土砂がくずれするなど災害を起こしている。今、問題となっている国営黒部川農業水利事業で、この基幹水路を全面改修し、両沿岸に広がる水田7千300haの農業経営の安定と共に、施設の維持管理費の節減を図らねばならぬ。総事業費約3億で補助率60%、県25%である。残額は発電用水と併用されて来た歴史的経緯上北電が参加し、受益者負担の協力が得られる。北電の固定資産税だけでも2千万円強入っており、発電量の増大が図られることは、税金、又電源立地交付金の増収などメリットが大きい。又関電では黒部川の水の効率的運用を図る為、テレメータ電送することなど行われる。

この事業は総論賛成、各論反対の一面もあると思うが、久し振りの大型事業なので大所高所に立ち積極的推進を図ることこそ入善町の産業基盤が確約されると思う。その所信を問う。

町長

国営黒部川農業水利事業については指摘の通りだが、先般11月11日国営黒部川沿岸農業水利事業促進協議会が発足され、副会長とな

った。その際北陸電力あるいは北陸農政局からの説明などがあり、今後この協議会が中心になって、事業の早期完成を期するというのが目的で、計画どおり59年度から事業着手、そして早期完成に努力して行く。現在水路が下山の段丘の中腹を通っている為、水路決壊の心配があるということ、現在の水路位置の変更が検討されている。野中地内をトンネル通過で計画されているが、勿論農業用地として耕作に支障がないよう処置される。テレメータの設置場所は未定だが、1ヶ所か2ヶ所で今、検討中である。

今、中央に於いて臨時国会が開かれていて、景気浮揚や災害復旧に対応する為、建設国債の発行を以って、58年度分事業費前倒し等意味する一般公共土木費4千億円程度補正されると、洩れ承っている。我が入善町にも継続的事業、その他関連する事業について内示額があるだろうと考えるが如何か。

町長

国の57年度補正予算で入善町へ拘わる分は、今期町議会に提案した補正予算の中で、林道中谷線開設事業57年度から58年度迄を期間とする1千万円である。外では県営事業の土地改良総合整備(青木、小指戸、野中地区土地改良区)の5千万円、県営かんがい排水事業に2千万円、県営新川広域農道整備事業に2千万円が補正予定されている。

入善高校に学級増を

広瀬 義孝 議員(自民)

活力と潤いにおいに満ちた文化の入善をめざした基本構想が出された。計画の主な事業で59年より宅地造成を行うことになっているが、さ来年といわず明年から早速取り組まれない。分譲宅地も入善地区ばかりでなく、例えば横山地区では集落の南側などにミニ団地的なものを希望に応じて造成しても良

いのではないか。このような施策は各校下で学校の近隣や適地を選んで進めるべきでないか。

町長

分譲宅地が町発展の一つのキーポイントになることについては同感だ。入居者は町だけでなく他町などからも来ている。北陸農政局でも巨額の予算を投じた田を宅地にしてはならないと言っている。造成を

問

57年の県立全日制高校の収容率は73%余りと聞く。入善高校は中学卒業するもの10名に対し、普通科12名、生活科30名、農業科30名計180名で収容は50%に充たない。

朝日町の人口は我町の3位なのに普通科13名、他の科と合わせ24名だ。かつての入善農学校は甲種として福野に次いでおり、三日市は乙種であった。当時の農学校、農林学校は現在皆大規模校となっている。伝統ある高校として物足りない。本人の志望はいざ知らず父兄の負担も大きい。是非学級増の実現に努力して欲しい。

町長

入善高校の60周年記念事業も11月1日行われた。歴史と伝統がある学校であり、大学などの進学率も高い。活力ある町づくりには、



問

知性と逞しい行動力のある若者の育成が大切である。普通科の入学の率を高める努力は必要であり、今年の6月27日地元県議2人に同道願い請願してきた。事務段階における見直しでは59年度には確実に一学級定員増になると思っている。さらに努力をしていきたいと考えている。

町長

以前の議会では私が質問していたことだが、モデル事業から取り残された宅道等の舗装助成について、町では制度として考えて行きたいと答えられていたが、如何様になっているか。また中国残留孤児の道市出身の西村さんが東京におられると聞くが、報道以外でわかることがあれば聞きたい。

町長

父が道市出身の子供である西村翼さんが、失意帰国の矢先、肉親により身元がわかった劇的なシーンがテレビなどで報道されてきた。念願がかなって帰国され、今厚生省の引き揚げ寮に入って日本語などを勉強しておられる。近日、募参りのため来町されると聞くので、応分の歓迎をしたいと考えている。

建設課長

57年度当初予算に100万円余り計上し、要綱案もあるが、幅が広いいろいろな実状など多岐に亘っている。町道以外の方であるので、ケースバイケースで取り扱わねばならないので、過去一年間を見て案の作成に対処して行きたいと思う。

社会福祉センターの建設概要は

松沢孝衛議員(自民)

問 年寄りに生きがいと夢をもたせ
来年度建設される社会福祉センター
だが、議員研修の一端として各地
を見て感じたことだが、施設的に
昇降口、廊下の手すりなどときめ
細かい配慮がされているが多い。
その他保健婦の常駐、医師の定期
回診、バスの運行など行われてい
る所もあつた。また今回町の福祉
団体からも請願されている処だが、
バスを運行する考えや建設概要運
営等について構想を問う。

町長 町民会館の用地は役場の北側1
万5千㎡位交渉している。内容に
ついては公民館活動に必要な施設
や美術品の展示や「じょうへのま」
や「埋没林」などの歴史的経過な
ど理解してもらおう部屋や、音楽会
などのホールを考へている。図書
館を入れるかはあと少し考へたい
が、59、60年に建て、経費が安上
がるような利用しやすい建物とし
たい。

町長 床面積1千㎡位で機能回復訓練
室や創作活動室など配置し、身障
者の方への配慮も設計で十分考へ
ている。工事費は3億4千万円余
り予定している。尚、職員につい
ては社会福祉協議会などの入居と
出来れば保健婦も派遣したいと考
えている。福祉バスについては来
年度予算の検討課題としたい。

問 県内では市民会館に33億円もか
けた新湊市のほか砺波市、大沢野
町など立派な物が沢山ある。大沢
野町では音楽会の出来るホール、
ほか働く婦人の家、健康センター、
児童館など有機的結合がされてい
る。我町の町民会館の建設構想に
ついて、町長の考えを尋ねる。

町長 開通することによってのマイナ
ス面も心配している所だが、影響
があれば関係機関と相談して行く。
側道を両インターまで結ぶことに
ついては努力したいが、今すぐに
は難しい面もある。インターと結
ぶものとして入善市街地東部と荒
又地内の8号線までの道路新設を
計画しているが、黒部側について
は農免道路は64年ぐらゐに完成す
るので、架橋することについて黒
部市と相談しながら陳情したい。

町長 開通することによってのマイナ
ス面も心配している所だが、影響
があれば関係機関と相談して行く。
側道を両インターまで結ぶことに
ついては努力したいが、今すぐに
は難しい面もある。インターと結
ぶものとして入善市街地東部と荒
又地内の8号線までの道路新設を
計画しているが、黒部側について
は農免道路は64年ぐらゐに完成す
るので、架橋することについて黒
部市と相談しながら陳情したい。

町長 開通することによってのマイナ
ス面も心配している所だが、影響
があれば関係機関と相談して行く。
側道を両インターまで結ぶことに
ついては努力したいが、今すぐに
は難しい面もある。インターと結
ぶものとして入善市街地東部と荒
又地内の8号線までの道路新設を
計画しているが、黒部側について
は農免道路は64年ぐらゐに完成す
るので、架橋することについて黒
部市と相談しながら陳情したい。

町長 開通することによってのマイナ
ス面も心配している所だが、影響
があれば関係機関と相談して行く。
側道を両インターまで結ぶことに
ついては努力したいが、今すぐに
は難しい面もある。インターと結
ぶものとして入善市街地東部と荒
又地内の8号線までの道路新設を
計画しているが、黒部側について
は農免道路は64年ぐらゐに完成す
るので、架橋することについて黒
部市と相談しながら陳情したい。

臨調の攻撃から 町民の暮らしを守れ

九里郁子議員(共産)

町長 開通することによってのマイナ
ス面も心配している所だが、影響
があれば関係機関と相談して行く。
側道を両インターまで結ぶことに
ついては努力したいが、今すぐに
は難しい面もある。インターと結
ぶものとして入善市街地東部と荒
又地内の8号線までの道路新設を
計画しているが、黒部側について
は農免道路は64年ぐらゐに完成す
るので、架橋することについて黒
部市と相談しながら陳情したい。

町長 開通することによってのマイナ
ス面も心配している所だが、影響
があれば関係機関と相談して行く。
側道を両インターまで結ぶことに
ついては努力したいが、今すぐに
は難しい面もある。インターと結
ぶものとして入善市街地東部と荒
又地内の8号線までの道路新設を
計画しているが、黒部側について
は農免道路は64年ぐらゐに完成す
るので、架橋することについて黒
部市と相談しながら陳情したい。

町長 開通することによってのマイナ
ス面も心配している所だが、影響
があれば関係機関と相談して行く。
側道を両インターまで結ぶことに
ついては努力したいが、今すぐに
は難しい面もある。インターと結
ぶものとして入善市街地東部と荒
又地内の8号線までの道路新設を
計画しているが、黒部側について
は農免道路は64年ぐらゐに完成す
るので、架橋することについて黒
部市と相談しながら陳情したい。

町長 開通することによってのマイナ
ス面も心配している所だが、影響
があれば関係機関と相談して行く。
側道を両インターまで結ぶことに
ついては努力したいが、今すぐに
は難しい面もある。インターと結
ぶものとして入善市街地東部と荒
又地内の8号線までの道路新設を
計画しているが、黒部側について
は農免道路は64年ぐらゐに完成す
るので、架橋することについて黒
部市と相談しながら陳情したい。

町長 開通することによってのマイナ
ス面も心配している所だが、影響
があれば関係機関と相談して行く。
側道を両インターまで結ぶことに
ついては努力したいが、今すぐに
は難しい面もある。インターと結
ぶものとして入善市街地東部と荒
又地内の8号線までの道路新設を
計画しているが、黒部側について
は農免道路は64年ぐらゐに完成す
るので、架橋することについて黒
部市と相談しながら陳情したい。

町長 開通することによってのマイナ
ス面も心配している所だが、影響
があれば関係機関と相談して行く。
側道を両インターまで結ぶことに
ついては努力したいが、今すぐに
は難しい面もある。インターと結
ぶものとして入善市街地東部と荒
又地内の8号線までの道路新設を
計画しているが、黒部側について
は農免道路は64年ぐらゐに完成す
るので、架橋することについて黒
部市と相談しながら陳情したい。

町長 開通することによってのマイナ
ス面も心配している所だが、影響
があれば関係機関と相談して行く。
側道を両インターまで結ぶことに
ついては努力したいが、今すぐに
は難しい面もある。インターと結
ぶものとして入善市街地東部と荒
又地内の8号線までの道路新設を
計画しているが、黒部側について
は農免道路は64年ぐらゐに完成す
るので、架橋することについて黒
部市と相談しながら陳情したい。

町長 開通することによってのマイナ
ス面も心配している所だが、影響
があれば関係機関と相談して行く。
側道を両インターまで結ぶことに
ついては努力したいが、今すぐに
は難しい面もある。インターと結
ぶものとして入善市街地東部と荒
又地内の8号線までの道路新設を
計画しているが、黒部側について
は農免道路は64年ぐらゐに完成す
るので、架橋することについて黒
部市と相談しながら陳情したい。

町長 開通することによってのマイナ
ス面も心配している所だが、影響
があれば関係機関と相談して行く。
側道を両インターまで結ぶことに
ついては努力したいが、今すぐに
は難しい面もある。インターと結
ぶものとして入善市街地東部と荒
又地内の8号線までの道路新設を
計画しているが、黒部側について
は農免道路は64年ぐらゐに完成す
るので、架橋することについて黒
部市と相談しながら陳情したい。

町長 開通することによってのマイナ
ス面も心配している所だが、影響
があれば関係機関と相談して行く。
側道を両インターまで結ぶことに
ついては努力したいが、今すぐに
は難しい面もある。インターと結
ぶものとして入善市街地東部と荒
又地内の8号線までの道路新設を
計画しているが、黒部側について
は農免道路は64年ぐらゐに完成す
るので、架橋することについて黒
部市と相談しながら陳情したい。

町長 開通することによってのマイナ
ス面も心配している所だが、影響
があれば関係機関と相談して行く。
側道を両インターまで結ぶことに
ついては努力したいが、今すぐに
は難しい面もある。インターと結
ぶものとして入善市街地東部と荒
又地内の8号線までの道路新設を
計画しているが、黒部側について
は農免道路は64年ぐらゐに完成す
るので、架橋することについて黒
部市と相談しながら陳情したい。

町長 開通することによってのマイナ
ス面も心配している所だが、影響
があれば関係機関と相談して行く。
側道を両インターまで結ぶことに
ついては努力したいが、今すぐに
は難しい面もある。インターと結
ぶものとして入善市街地東部と荒
又地内の8号線までの道路新設を
計画しているが、黒部側について
は農免道路は64年ぐらゐに完成す
るので、架橋することについて黒
部市と相談しながら陳情したい。

土地の貸付上問題がないか

大林政雄 議員(自民)

問

近年急激に増加の傾向にある学校生徒の非行は種々報道されているが、中学生の占める率が高校生の5倍以上というに至っては日本の将来は思いやられる。子供達を誰が教育するのかと家庭、社会、学校が三位一体となって初めて出来るのではないか。それは学校だけでは支えることは出来なく、結果を学校だけにしよよせさせては如何に教師と言えども負担に堪え得るものでない。教育の第一線たる現場で非行の芽を今の内に摘み取ろうとする一部の勇気ある教師の行動が、逆に誤解され、その真相もあきまえず先生の暴力と一方的にきめつけられている。隣県で西中に酷似した事件が起きたが、中学のその若き教師は「私も先輩先生のように与えられた時間を平穏につとめあげるのが賢明である」と語りました。今後このような積極的姿勢は絶対にとりませんと話していた。教師の暴力を足らせよというのではないが、情熱ある教師がこのように変わって重大なことである。校長を中心に教師一丸となって非行の防止に挺身されることやPTAにおいて家庭教育、それら連携を密にされてこそ成果をあげ得ると信ずる

が、教育委員会はこれらの状態をどのように考察され、指導監督しているのか。

教育長

大阪府の教育委員会が最近アンケートをとって調べたことだが、小中学校の先生の中には、体罰も必要だとする意見も多く表われている。体罰は法律で禁じられており、道徳的にも肯定できない。西中学校で事件を起こしたことは大変申し訳なく、その先生を含めて校長以下一同深く反省し、学校体制でこのような事態にいたらなくとも、全員の誠意で生徒指導が行われるよう申し合わせ研修に励ませている。生徒指導に非常に熱心で、その子を良くしてやりたい熱意の余り一部行き過ぎた行為があった面もあり、悪かったことを認めながらも、このことにより先生が萎縮して生徒指導に手加減や遠慮することがないよう全員に注意している。先生と生徒がいかに信頼関係を確立するかという方法を考えて、管下の教師にお願いしていることだが、子供により多く接する、家庭と密接な連絡をとることが必要である。指導に当たっては一人重荷を背負わせないで、学校長以下一丸となって熱意をもって教育指導に当たることをお願いします。

合わせをしているところである。

問

12月9日議員全員協議会において、南西島鉄工所へ上野の町有地1千26㎡を15年間無償貸付したと報告があったが、契約内容等どうなっているのか。この件について6月議会で総務委員会に付託された9月議会でも委員会報告したところだが、その時の意見要望が取り入れられていない。土地の貸付は地方自治法96条1項の規定によると、議会の議決が必要となっている。土地取得会計の問題等合わせ不信感も覚える。町長はどのように考えているのか。

町長

議会の議決の前に、県に対する

施設事業費は 町財政を圧迫しないか

福沢 万次 議員(社会)

問

58年の予算編成は大変厳しい筈だ。例えば町の財政計画において国庫支出金は約9億6千万円で、本年より1億2千万円増えている。又法人税の伸びは見込めるのか。累年交付税の財源不足のため、国が借入れし市町村に交付する。その償還金のを切り捨てると新聞報道されているが町へ影響はないか。老人福祉センターをはじめとして多くの建設事業は土木、農水産業事業にしろ寄せることはないか。公共料金の値上げ、補助金

町長

の見直しなど考えているのか。国庫支出金の増は社会福祉センター、青木保育所、舟見体育館、農免道路で見込んでいます。地方公付税の国の借入する分について影響することは無いと思っております。建設事業によって住民の要望の多い道路の整備などしわ寄せを生じさせない。公共料金等値上げの抑制など充分考えて行きたいが補助金については洗直しが必要もある。税務課長

今年度の法人税は12月、3月決

算法人の動向にもよるが、概ね確保出来ると思うが、来年も今年並と見ている。

問

北陸新幹線のルート発表は地域のコミニティ、騒音振動、農地への影響と二重、三重の環境破壊となる。富山空港は現在の3倍の輸送力になる。又高速度の開通を考えれば疑問視される。在来線が不便になり、地元負担までしてメリットがあるのか、町長の考えを伺う。

町長

新幹線の着工の時期については不透明だが、上越及び東北新幹線が開通したが利用率が低く、赤字が予想される。上越新幹線も60年に上野迄乗り入れられる見通しであることや北陸線をスピードアップすることも発表されている。富山県の地元負担は1千200億円位とも聞かれますが、個人的には必要でないと思うが、しかし町長として総合的な判断も必要であるので、関係住民の意見を聞きながら最善の努力をしたい。

問

北陸自動車道の建設により交差する箇所は多く見通しが悪い。側道が町へ移管されるとなれば交通事故の多発が心配される。事故が起きてからの対策では遅い。その対策と神林のパーキングエリアは地下水、下水処理など地元への影響はないか。又パーキングエリアに展望台をつくるという話を聞いているが。

町長
 移管がスムーズに行くために地元代表者、土地改良区、町、公団と現場を査察し、不整備な箇所や施設のないものについて施行するよう要望している。一宿の六差路については入善署と信号機設置で話している。



事故が心配な交差点（一宿地内）

ワー的なものは不可能だが、町を紹介する案内板を設置することで合意している。

都市計画課長
 パーキングエリアの雨水の排水先となる用水は公園で一部改修し汚水は改良区と協議中だ。地下水については障害があれば減水するなど地元と協議が整っている。

電力協力金の使途について

板川清治議員（自民）

問
 本年10月に電力会社から7億5千万円を協力金として受領してある。町はそれを財政調整積立金として2億円を一年定期に、利息7%、2億7千500万円を2年定期に（利息6%）残額を中期国債ファンド（利息7%前後）預金してあるが、高い利息を払うより借金返済に充てるのが得策でないか。

その理由は7億5千万円を7〜8%で借入し、又5〜6%で預金しているのでは2年間で1千400万円程損になること、又財政調整積立金を取りくずす場合にも災害による経費、経済事情の著しい変動、大規模な建設事業等色々制限があること。その他地方交付税のうち特別交付税に影響すると考えられる。特別交付税は、自治大臣が各県に

枠を設け、知事が各市町に配分することになっている。当然、町の財政事情がどうか判断の資料となるのではないか。

町長
 関電から4億5千万円、北電から3億円受領し9月議会で予算化し、将来の大規模事業に対処するため積立てた所である。今、町がもっている町債を償還し必要に応じ借入れした方が有利なのか色々考えられる。これからの財政運用は証券会社を通ずとか、円高円安を利用して差益を稼ぐとか創意工夫も必要だが、町が年末の支払いなどの関係上銀行からの一時借入をしなければならぬ。預金の担保のあるなしの借入では、利率は違う。一面的な利益だけではなしに、総合的財政運用上行っている。又交付税について影響はないと思っ

問
 東町住宅は建設されてから18年から20年、上原住宅は16年から20年、舟見住宅は9年から10年経過している。しかし今まで家賃の改正は一度も行われていない。賦上げせよとはいにくいことだが、時世上老人医療の負担金の問題等すでに出現している。見直す考えがあるのか伺いたい。

町長
 公営住宅の目的は低廉な家賃で賃貸させるのが基本である。東町住宅を例に見ると、第二種住宅で2千500円から2千700円、第一種住宅で3千800円の使用料だ。入居し

た場合、80%までの割増家賃を徴収しているが依然として半分以上の方が2千500円ないし2千700円、第一種については3千600円の家賃

となっている現状である。56年度より使用料と維持費の関係において維持費が上廻ってきており現状に合わせた引上げを考えている所だ。

決算審査報告書

決算審査委員長 本田 幸 光

昭和56年度の町の各会計決算は、9月議会で決算特別委員会を設置し、12月まで9回にわたり継続審査を行い、12月議会最終日に審査の報告があり、議会も賛成多数でこれを認定した。

審査の方針

町当局が議会の議決を尊重し適正に予算を執行したか。またその行政効果がどうであったかを評価しながら、次年度以降の予算編成と今後における行政の方向を見出すよう審査し意見を付した。

総括的意見

予算の執行状況は各会計とも適正と認める。特に一般会計において2億6千800万円割が翌年度へ繰越、財政調整積立金2億7千万円、積立繰上償還金6千万円弱償還されたことである。今後計画されている学校建設等財政基盤の確立への効率的な財政運用努力を高く評価する。

審査の所見

（一般会計）

* 経費関係について
 一、滞納額が金額、件数とも前年

度より多い。滞納整理に一層の努力を要請する。

二、庁舎のオープン化は町民へのサービス向上など評価も良い。今後職員は親切に接待されることを望む。

三、公債及び債務負担行為は約54億2千万円強は、県下でも多い方である。財政事情を十分見極めた上で計画の実施に当たられたい。

* 文教厚生関係について
 一、学校施設の充実も大切だが、非行が低年齢化している現状を踏まえて、教育指導者の研修等必要である。

二、学校の統合、改築等で地域住民の要望、対話の中から生まれたいものは用地等先行取得の出来るものもあると思えるのでその姿勢を打ち出されたい。

- 三、保育と幼児教育には限界があり、幼稚園の設置が望ましい。
- 四、図書館は閉鎖的で利用しにくい。環境、貸出し方法、閉館時間等見直す必要がある。
- *産業建設関係について
 - 一、転作の指示が遅い。国の情報を早くキャッチされ、転作物物の定着安定化を指導されたい。
 - 二、中核農家の育成対策や企業誘致に努力されたい。
 - 三、水産業においては育てる漁業への転換が必要である。
 - 四、商業の発展のため、都市計画事業推進の中から大型店舗に対応する商店街振興対策をたてるべきである。
 - 五、町発注の工事に関し当該年度中に不詳事が出た。今後絶対このようなことはあつてはならない。
- その外共通事項について
 - 一、各種団体に対する補助金、負担金の支出に、一部マンネリ化傾向のものも見受けられる。行政改革が叫ばれている今日、初期の目的、投資効果、内容なども見直して行くべきである。
 - 二、行財政検討委員会が設置されたことは評価するが、今後も電算出来るもの、委託出来るものはないか検討すべきである。
 - 三、電話、電気料、消耗品など、職員の小さな心づかいの中から削減できるものがあるので心がけて欲しい。
 - 四、国保会計は被保険者の高齢化と年々加入者の減少、そして医

療費の増高など運営は限界だ。国の医療制度の根本的改革も必要だが、健康指導に努力を期待する。

二、育英奨学資金特別会計の運営については、山本先生篤志の趣旨を今後も生かされたい。

三、今後の宅地需要を考えながら計画的に分譲宅地の施策を推進

常任委員会審査報告

12月定例会において議案、請願、陳情が常任委員会に付託された。各委員会では各案件を慎重に審査し、いずれも採択すべきものと決定したが、審査の過程で出された要望意見は次のとおりである。

総務委員会

委員長 大林政雄

- 案件 昭和57年度入善町一般会計補正予算外議案4件
- 意見
 - 一、職員給与費の減額補正は、かつて無いことだが、国の方針、又時世上止むを得ない。
 - 二、道路中町線改良事業の減額は未だ事業が残っており、気になる。今後県、地元とも十分打ち合わせの上遂行されたい。
 - 三、国民保険は共済、健康などの社会保険に比べ老人の加入率は高く、医療費が増高し、国保会計を圧迫している。老人保健法の施行により保険間の調整がな

されたい。

四、墓地の分譲は目標を大きく割っている。このような状態が続くと一般会計からの繰入によって運営しなければならぬので、分譲方法、P/R等に一段と努力を要する。

も必要である。

六、財産の処分、土地の貸付について異存のないところだが、手続き上、不手際が気になる。町長を補佐する者は充分法規を遵守されたい。

文教厚生委員会

委員長 池原金与志

- 案件 昭和57年度入善町一般会計補正予算外議案4件、請願3件、陳情1件
- 意見
 - 一、上善小学校グラウンド造成は、開校時まで間に合わせる必要上1千800万円計上されたが、冬場を迎えるの工事なので施工上十分注意されたい。
 - 二、簡易水道特別会計で50万円の基金積立をし、将来への対応したことは当然である。
 - 三、老人保健法は58年2月1日から施行される。老人医療のあり方について各論もあるところだが、法の基本理念にもあるように「国民は自助と連帯の精神に基づき自ら加齢に伴って生ずる心身の変化を自覚して常に健康の保持増進に努めるとともに老人医療に要する費用を公平に負担する」ことになっている。今までの無料より若干有料化されるが、負担による自覚と総合的健康施策面から大なるものがあり画期的事業である。より保健
 - 四、災害弔慰金の支給条例が改正され、災害障害見舞金制度が追加されたことは評価すべきだ。
 - 五、老人などに対する家庭奉仕員派遣について、所得制限が撤廃され平等の権限が付与されたことは評価するが、ヘルパーの人員や運営については配慮を要する。
 - 六、青木地区のコミュニティ設置については前向きで取り組む必要がある。
 - 七、福祉バスの運行請願はすでに隣接市町で実施しており、運行されるよう願いたい。
 - 八、入善小学校の新築については総合計画の実施、学校教育問題審議会の意見を尊重の上、進めたいかねばならない。
 - 九、野中小学校の玄関の設置請願は当然であり、遅きに失していた。教育の諸条件整備は大切なことであり、早急に対応されたい。

七、財産の無償貸与について、9月定例会で総務委員会審査報告した意向は汲み取られていないところもあるが、企業の指導には特と留意されたい。

産業建設委員会

委員長 西尾三郎

●案件 昭和57年度入善町一般会計補正予算1件、請願4件
●意見

一、街路中町線の負担金が減額されているが、58年には完成を目標に努力されたい。

二、除雪対策費20万円を追加計上され総額で昨年並予算となった。これからの降雪期を向えて除雪対策には十分住民の要望に応えられたい。

三、福島地内に4企業が立地することになった。今後周辺を団地として拡張を図るとの意欲は

評価するが、執行の上で若干の問題もあつたので今後注意する必要がある。

四、吉原地内の町有地に防滴林として植樹されることになったが、今後引き続いて防滴林事業に取り組みたいことを要望する。

五、下飯野地内の道路の改修と舗装、下飯野新地内の西入善駅南側農道の舗装、野中地区の農道整備事業、荒又地内の道路の舗装、これらの諸願についてはいずれも住民の願望する生活道路なので、早急な対応を願う。

議員定数減少条例決定

町議会議員定数を次の選挙(昭和60年)から20名に減少する。

地方自治法で議員定数は人口2万人以上の町は30人とされ、これを条例で減少することができるとある。入善町は、町発足時30人から順次定数を減少し、昭和52年から22人にしてきた。

提案理由(要旨) 若島信行議員

自民党議員総会の決定で議員提出議案として定例会最終日(12月20日)の議会で提出、町議会議員の選挙は全町1選挙区で行ない、当選した議員は、地域の代表と言

節約ができる。現行22名を2名減少して、社会状況の厳しさに立ち向い住民の付託に応えたい。

★質 疑★

問(九里議員) 入善町22名の議員

で、町民に不足の事態なり、行政運営上支障を来たしたか、具体的事例で説明されたい。党利党略でなく、住民が待ち望んだ姿と言うが、根拠を資料で示してほしい。節約と言ふのに12月、3月議会で食糧費は一部個人負担はあつても宴会が行われる。これを節約すること、議員の資質向上とどう関連性があるのか食糧費について検討したか。この議案提出に反対のはがきが議長に出されている。自民党議員会の考えを聞く。

答(提出者 若島議員) 共産党は公費の無駄使いを発言しているが、議員1名の減少は千200万円の節約となり、議会で順次減員して来たが支障なく20名に提案した。議員1人当り年間約300万円の経費には食糧費は含んでいない。

問(福沢議員) 小教精鋭主義で削減しても、必ずしも精鋭が選ばれらる限らぬ。昨年の不祥事件は議員の勉強不足と反省している。歳費1万5千円の値上げを止めれば2名分の経費は出るとどう考えるか。

答(若島議員) 昨年の町長の問題は残念に思っている。私達にも責任はあつたと思うが、この問題とは違う。20名にした場合、今の議員より以上の議員が出るかは、選挙する町民が定める事である。

問(岩場議員) 議員削減は市民の声と言うが、町民の考えを調査したか。経費の削減であれば、来年3月議会で報酬を値上げしないと確約できるか。

答(若島議員) 住民の声として2名削減しても町政は変らぬし良いと言う、行革がらみの財源節約を多くの人から聞く。議員報酬は、特別職等報酬審議会の答申で提出されるからここで言えない。

答(上島議員) 自民党議員会長として言うが、住民の調査とか、革新政党のアンケートとは、住民の意向を知る上で良いが、それが全てと思えない。議員は選挙で選ばれた代表で、最終的には多数で決まるが22名の議員中、自民党19名で話し合った結果である。議員はそれぞれ多くの方の意見を持ち寄つたものでその意志を汲み取ってほしい。

★討 論★

反対討論 福沢万次議員(社会)

町政の審議運営に大きく係る議案を委員会審議するのがルールであり我々に納得行く相談がない。多数で押し切ること、時期尚早である、主権在民、議会制民主主義、住民参加の自治の時代に国の内外に山積している問題を町行政に引き寄せられる今日、町発展に大きな任務のある議員定数の削減は、慎重に審議すべきだ。法定議員数の3分の1も減少しても尚民意を十分町政に反映する考えは自信過

剰で開かれた町政に逆行する。議会本来の行政チェック、住民の代弁に危惧するし委員会の十分な審議に懸念がある。議員報酬の上福を押さえる努力をして予算構成で他市町に比して議会費が多ければその時点で考えれば良い。各界各層からの優秀な新人の進出が断たれ現職の保身、金権政治のおそれあり反対する。

賛成討論 白又正司議員(自民) 自民党議員会で日頃からの話し合いで提出されたもので私は議員に当選してから自分の名は汚してはならぬと考えている。国は大量の国債発行を行ったが、経済停滞は抜け切れず、大量の赤字がある。行政改革、人事院勧告の凍結目前にあり、公費削減は重要、また民意を聞き、町の現状を考えると議員自ら切りつめる姿勢が大切であり、賛成する。

反対討論 九里郁子議員(共産) 民意を代表する地方議会が自治体の運営を決定し執行を監視する責任がある。議員定数を減らすことは法の精神をゆがめ少数では委員会機能を果たせない。住民負担の強化行政サービス切り下げ地方行政の反動的再現となる臨調路線そのもので町民の声を閉じ民主主義を破壊しボスの政治の途を開くことになり反対する。

賛成討論 五十里隆雄議員(自民) 少ない経費で効果を上げることは私達に果せられた役目、住民から議員数は多過ぎるとの声を肌で感じた。住民の意志は議会のほかに

各種審議会、住民集会等を通じて直接聞く方法も取られている。行政改革を行うに議員自ら議会を懸念に充たせて、経費節減に努めるべきであり賛成である。

反対討論 岩場 俊議員(民社)

地方自治は民主主義の源泉、議会は代議制民主主義の柱、学校である。議会と執行部は権衡のバランスで考えるべきだ。議員数が限界以上に減ることはチェック能力が薄らぎ行政が強大となり、執行部の独走を許すことになり兼ねない。議員減少は自ら代議制民主主義を放棄すること議会軽視も甚だしく行政改革経費の節減は報酬の減額で対処することが望ましい。この条例は時期尚早で反対する。

賛成討論 本田幸光議員(自民)

革新議員から、反対意見の中に、この条例は入善町発展の阻害とか議会軽視に繋がる発言があったが、そう思わない。多くは言われないが、定数はどの程度が良いかは人それぞれであり、私はこの条例に賛成する。

賛成討論 上島藤吉議員(自民)

賛否両論ある中で、それぞれの立場で町を愛し、愛いての両論であり採択に値すること理解する。しかし地方自治法制定以来30数年経過し、私達を取り巻く環境の中で住民意識が全く変わり、住民の求める安上がりの財政、行政、政治と主権は住民のものである自覚が大きな流れとなり、行政改革として現われている。議員2名の削減は、その経費節減は微々たるも

のであってもこれを受ける住民には精神的効果を大きく期待する、住民の求める意向は行政改革が願いであり、これを取り入れることが我々の成すべきことである。それぞれ考えの異なる中で最大公約

数を求めることにあり、愛町の精神に燃え、議会の運営に当たり、入善町のために尽くしていただきたいことを願って提案されている議員定数減少条例に賛成する。

第8回

入善町議会臨時会

1月28日開会、新幹線対策特別委員長より審査中間報告されてから、議案2件を審議、原案の通り可決した後、新屋、小指戸(3)、6区、の両地区から出た陳情を北陸新幹線対策特別委員会へ付託して閉会した。
○議案「入善町重度心身障害者等医療費助成条例の制定について」
国の法改正に伴い65才以上の重度障害者にも一部負担を導入されることになったが、これを県、町で肩代りする条例案が提出され賛成多数で可決した。
○議案「入善町営住宅設置条例の一部改正について」
駅南住宅の完成に伴い18戸を36戸に変更、上原及び東町住宅を各々1戸減少させ、集会所とすることにした。

新幹線対策特別委員会 審査中間報告

委員長 小林 与三雄

12月定例会で委員会が設置されたのに伴い12月27日、鉄道公団を呼び概要を聞き、意見交換を行った。公団では生活環境に影響を及ぼさないよう処置すると云っているが不明瞭で抽象的であった。新幹線の影響報告案に対し、町を経て知事に

る立場より、
一、土盛が高架が不透明だが、病虫害の発生、又日陰となる。
二、農地高度利用上、集団転作の支障となり営農形態が崩れる。
三、土地が細分化され、大型機械の導入など耕作上支障を来す。
四、風向の変更により稲の倒伏、通称「アラセ」が無くなり良質米の生産地で無くなる。
五、高速度道、合口用水の間となり永久に発展は望めず地価も下る。その外、
一、地域コミュニティが阻害される。
二、見通しが悪くなり、交通事故の発生が予想される。
三、騒音、振動、電波障害などや高速度道等、二重三重の複合障害となる。
四、土盛が高架が不透明なため、直接的、間接的通過が住民の精神的不安が大きい。
五、予期せぬ障害等予想されるなどの意見が出されている。特に上越、東北新幹線の着工によって、農地が日陰となり、米が減収している問題など、今だ解決されていない。これらに対する住民の心配は困りしれないものでありルート変更となって現われている。住民の声を聞き、共に心配するの也是我々の務めでもある。町長は地域住民の意向を踏まえて、2月7日まで知事に提出しなければならぬ新幹線環境影響報告の意見とされることを要望することとした。



編集後記

良い年をお迎えになられたことと思います。今年もよろしくお願いたします。56豪雪は記憶に新しいところで、今年の豊稔積雪は37センチです。立春もすぎたので、このまま平穏に春を迎えることができたかと念願しております。一方、地方行政は不況により地方交付税の削減など非常に厳しくなってきました。58年の予算議会も目の前に控えています。限られた財源の中で町民のニーズに如何に心えるか大いに執行当局に提言し、実行に移させたいと考えています。

- 議会だより編集委員
上田 義信 西尾 三郎
石川 昭男 上島 藤吉
大林 政雄 本田 幸光
池原金与志 九里 郁子